

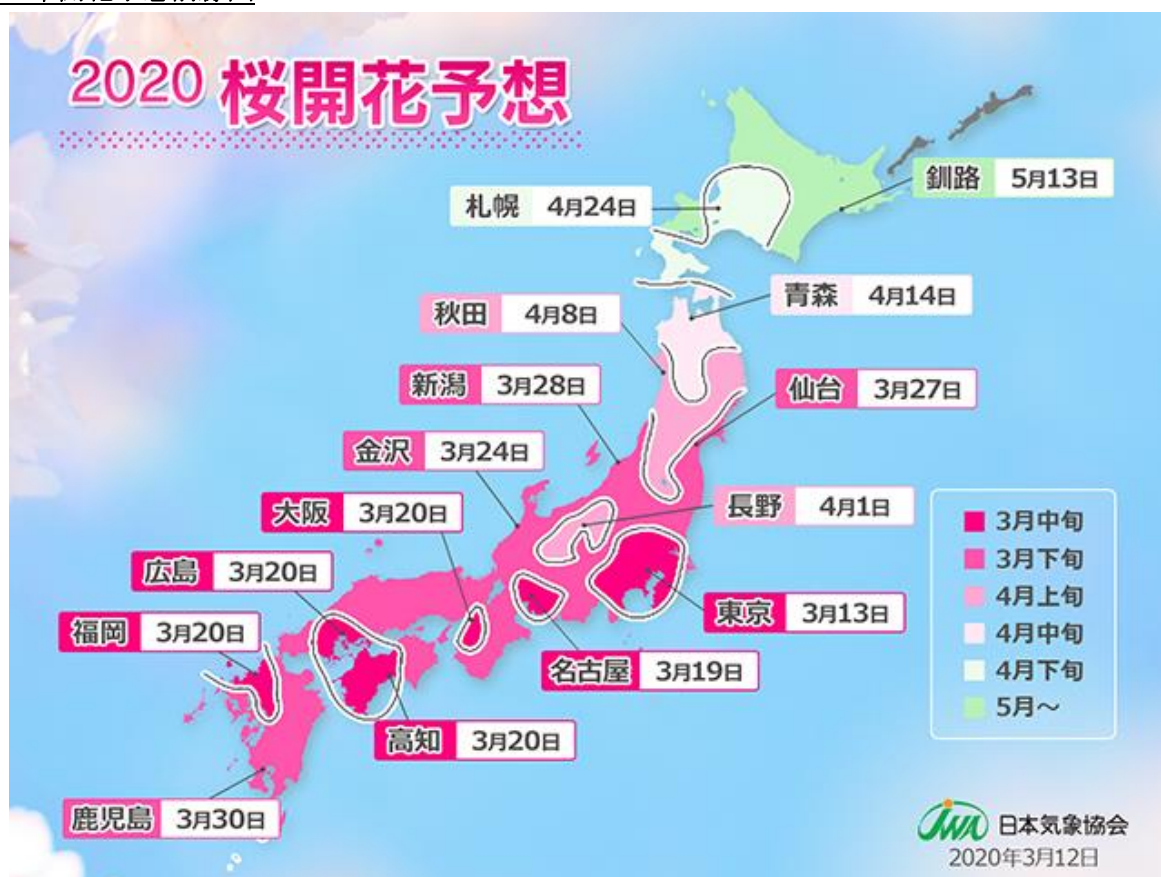
【報道関係各位】

2020年3月12日
一般財団法人 日本気象協会

2020年桜開花予想(第4回) 平年より2週間以上早いところも！ 東京は最も早い記録更新へ

一般財団法人 日本気象協会(本社:東京都豊島区、理事長:長田 太、以下「日本気象協会」)は、日本全国 89 地点の桜[ソメイヨシノ ほか]の開花予想(第4回)を、2020年3月12日(木)に発表します。

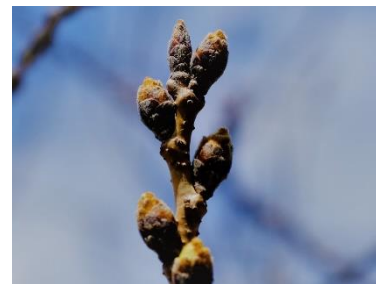
■2020年開花予想前線図



東京の標本木(3月11日撮影)
一輪開花が確認されました。他の枝に
いたつぼみもピンク色がのぞいていて、
まもなく開花となるでしょう。



名古屋の標本木(3月11日撮影)
つぼみがふくらんできましたが、まだ、
一週間くらいかかりそうです。



高松の標本木(3月10日撮影)
つぼみがだいぶ丸みを帯び、先端の
緑の部分が見えてきました。ここ2、3日
で急に生長しました。



■2020 年 開花予想日・満開予想日(主な地点)

開花日

	地点	予想日	傾向	平年開花日	2019 年	最も早い開花日
鹿児島県	鹿児島市	3 月 30 日	遅い	3 月 26 日	3 月 25 日	3 月 15 日(2013)
福岡県	福岡市	3 月 20 日	早い	3 月 23 日	3 月 21 日	3 月 13 日(2013,2009)
高知県	高知市	3 月 20 日	平年並	3 月 22 日	3 月 22 日	3 月 10 日(2010)
広島県	広島市	3 月 20 日	かなり早い	3 月 27 日	3 月 22 日	3 月 19 日(2004)
大阪府	大阪市	3 月 20 日	かなり早い	3 月 28 日	3 月 27 日	3 月 20 日(2018,2002)
愛知県	名古屋市	3 月 19 日	かなり早い	3 月 26 日	3 月 22 日	3 月 17 日(1990,1989)
東京都	千代田区	3 月 13 日	かなり早い	3 月 26 日	3 月 21 日	3 月 16 日(2013,2002)
長野県	長野市	4 月 1 日	かなり早い	4 月 13 日	4 月 13 日	4 月 2 日(2018,2002)
新潟県	新潟市	3 月 28 日	かなり早い	4 月 9 日	4 月 5 日	3 月 30 日(2002)
石川県	金沢市	3 月 24 日	かなり早い	4 月 4 日	4 月 1 日	3 月 26 日(2002,1989)
宮城県	仙台市	3 月 27 日	かなり早い	4 月 11 日	4 月 5 日	3 月 29 日(2002)
秋田県	秋田市	4 月 8 日	かなり早い	4 月 18 日	4 月 16 日	4 月 7 日(2002)
青森県	青森市	4 月 14 日	かなり早い	4 月 24 日	4 月 18 日	4 月 14 日(2015,2002)
北海道	札幌市	4 月 24 日	かなり早い	5 月 3 日	4 月 24 日	4 月 21 日(2008)
北海道	釧路市	5 月 13 日	早い	5 月 17 日	5 月 9 日	5 月 6 日(2015)

満開日

	地点	予想日	傾向	平年満開日	2019 年	最も早い満開日
鹿児島県	鹿児島市	4 月 7 日	遅い	4 月 4 日	4 月 9 日	3 月 26 日(2013)
福岡県	福岡市	3 月 30 日	平年並	4 月 1 日	3 月 29 日	3 月 22 日(2013)
高知県	高知市	3 月 28 日	平年並	3 月 30 日	3 月 29 日	3 月 19 日(2018)
広島県	広島市	3 月 30 日	早い	4 月 4 日	4 月 3 日	3 月 27 日(2002)
大阪府	大阪市	3 月 28 日	かなり早い	4 月 5 日	4 月 4 日	3 月 26 日(2018)
愛知県	名古屋市	3 月 29 日	早い	4 月 3 日	4 月 4 日	3 月 27 日(2018)
東京都	千代田区	3 月 23 日	かなり早い	4 月 3 日	3 月 27 日	3 月 21 日(2002)
長野県	長野市	4 月 6 日	かなり早い	4 月 17 日	4 月 18 日	4 月 5 日(2002)
新潟県	新潟市	4 月 3 日	かなり早い	4 月 14 日	4 月 12 日	4 月 4 日(2002)
石川県	金沢市	3 月 31 日	かなり早い	4 月 10 日	4 月 6 日	4 月 1 日(2004,2002)
宮城県	仙台市	4 月 5 日	かなり早い	4 月 16 日	4 月 10 日	4 月 3 日(2002)
秋田県	秋田市	4 月 12 日	かなり早い	4 月 22 日	4 月 20 日	4 月 12 日(2002)
青森県	青森市	4 月 20 日	かなり早い	4 月 29 日	4 月 22 日	4 月 16 日(2002)
北海道	札幌市	4 月 30 日	かなり早い	5 月 7 日	4 月 29 日	4 月 25 日(2008,2002)
北海道	釧路市	5 月 16 日	早い	5 月 20 日	5 月 13 日	5 月 8 日(2015)

■開花と満開の傾向

桜の開花は全国的に平年より早くなります。多くのところで平年より 3 日～7 日早く開花し、平年より 10 日～2 週間以上も早まるところもある見込みです。記録的な早さとなるところもあるでしょう。

今年の開花は、3 月 13 日に、東京からスタートする見込みです。2002 年と 2013 年の 3 月 16 日を抜いて、統計開始(※1)以来、最も早い開花となる見通しです。16 日には横浜、17 日には熊谷で開花するでしょう。その後、19 日には名古屋や前橋、岐阜、20 日には福岡、高知、広島や大阪などで、続々と開花する見込みです。3 月末までには九州から関東、東北南部にかけての広い範囲で開花し、4 月上旬には東北北部で咲き始めるでしょう。桜前線は 4 月下旬に津軽海峡を渡り、函館では 4 月 22 日、札幌は 4 月 24 日に開花するでしょう。

この冬(12月～2月)は、全国的に気温がかなり高く、西・東日本では気温の統計開始(※2)以来、最も高い記録を更新しました。日本海側では降雪量が記録的に少なくなりました。この先も暖かい傾向が続く見通しです。

この冬の桜の花芽の休眠打破(※3)は、やや遅れました。3月以降も、全国的に気温が平年より高く経過し、花芽の生長が促されると見込まれるため、開花予想日は全国的に早まっています。なお、鹿児島は冬期の冷え込みが弱いことから、他の地域に比べて休眠打破の遅れが大きいと考えられるため(※4)、開花は平年より遅くなる見込みです。

満開日は、おおむね開花日の1週間から10日くらい後で、全国的に平年より早いでしょう。関東、北陸、東北では平年より10日以上も早いところが多いでしょう。予想満開日が最も早いのは東京の3月23日で、平年より11日早くなりそうです。3月末は九州から関東で満開になるところが多いでしょう。

※1 桜の開花・満開の統計開始は1953年

※2 気温の統計開始は1946/47年

※3 休眠打破：前年の夏に形成され休眠に入った花芽が、冬になり一定期間の低温にさらされて目覚めること

※4 気温が高い場合、元々温暖な地域は現在より開花が遅れ、元々寒冷な地域は現在より開花が早まる傾向があります

全89地点の桜の開花予想日はこちら：<https://tenki.jp/sakura/expectation/>

【言葉の説明】

平年：1981～2010年の平均値

かなり早い：平年より7日以上早い

早い：平年より3日から6日早い

平年並：平年との差が2日以内

遅い：平年より3日から6日遅い

かなり遅い：平年より7日以上遅い



参考資料

桜開花予想に関するよくあるご質問

Q1: 桜開花予想の発表のスケジュールは？

A1: 以下の日程を予定しています。2月中は開花予想日のみを発表し、3月以降は開花予想日と満開予想日を発表します。

第1回 2月6日(木)	第2回 2月20日(木)	第3回 3月5日(木)	第4回 3月12日(木)
第5回 3月19日(木)	第6回 3月26日(木)	第7回 4月2日(木)	第8回 4月16日(木)

Q2: 開花日・満開日の基準は？

A2: 気象庁の観測基準と同じです。開花日は標本木で5～6輪以上の花が咲いた状態となった最初の日、満開日は標本木で80%以上のつぼみが開いた状態となった最初の日です。

Q3: 予想する地点数は？

A3: 3月以降は全国で89地点の予想を発表します。予想地点89地点は、各地気象台が観測する標本木53地点と自治体・公園などの協力機関から観測データを得られる36地点となります。

Q4: 日本気象協会の桜開花予想の手法・特徴は？

A4: 花芽(はなめ)の生育過程に大きな影響を与える「秋以降の気温経過」に重点を置いた、独自の予測式を用いて開花予想を行っています。各地気象台の標本木や公園などの協力機関による正確な観測データを重視した、気象学的根拠に基づいた予想を出しているのが特徴です。

日本気象協会は2007年から桜の開花予想を実施しており、今年で14年目の取り組みです。

Q5: 開花予想に使うデータは？

A5: 以下データを使用しています。

①前年秋から予想作業日前までの気温観測値

②予想作業日から開花時期までの気温予測値(日本気象協会ポイント予報および長期予報)

桜の開花時期には、前年の秋から春にかけての気温が大きく影響します。桜の花芽は前年の夏に形成され、その後、休眠に入ります。冬になって一定期間の低温にさらされると、花芽は休眠から覚めます(休眠打破)。休眠から覚めた後は、気温の上昇とともに生長し開花しますが、気温が高いほど花芽の生長が早く進み、開花が早まると考えられています。